



羅針盤

2014年度 第19号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2015.2.27



「得点調整」という言葉を知っていますか？大学入試センター試験において、同じ教科内の科目間で平均点に大きな差が生じてしまったときに、受験生一人一人の得点を調整する事です。「大学入試センター試験受験案内」には次のように記載されています。

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で、原則として、20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくもの認められる場合には、得点調整を行います。ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 数学①の「数学Ⅰ・数学A」と「旧数学Ⅰ・旧数学A」の間
- ④ 数学②の「数学Ⅱ・数学B」と「旧数学Ⅱ・旧数学B」の間
- ⑤ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」の間

得点調整にあたっては、対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から、平均点差のすべてを調整するのではなく、調整後も平均点差が15点(通常起こり得る平均点の変動範囲)となるようにします。

今年のセンター試験では、1月23日発表の中間集計時点での平均点は

物理	化学	生物	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ
61.64	59.20	48.39	69.93	65.13	56.96

と、物理Ⅰと生物の間で20点以上の差があったため、上の規定に従って理科②において得点調整が実施されました。なんと、17年ぶりのことだそうです。(1998年の地理歴史以来2回目という極めて珍しい事態だそうです。)皆さん生まれて初めて聞く言葉でも無理ありませんね！「地学」及び「地学Ⅰ」は、受験者数が1万人未満のため、得点調整の対象となりませんでした。

具体的には次の換算表のように調整が行われました。(換算表の一部のみを掲載します。)

素点	物理	化学	生物	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ
50	54	55	58	50	53	54
51	55	56	59	51	53	55
52	56	57	60	52	54	56
53	57	57	61	53	55	57
54	58	58	62	54	56	58
55	58	59	63	55	57	59



例えば「生物」の自己採点の結果が50点(素点)であれば、「素点」の50の行の「生物」の列のマスにある58が調整後の「生物」の得点となります。

また、「化学」の自己採点の結果が50点(素点)であれば、「素点」の50の行の「化学」の列のマスにある55が調整後の「化学」の得点となります。

調整の結果、最終的な平均点は以下のようになりました。

物理	化学	生物	物理 I	化学 I	生物 I
64.31	62.50	54.99	69.94	66.67	60.87

ご覧のように、得点差が15点以内におさまったわけです。

このように調整が行われると、生物を選択した人は8点程度も点数が上がるので大喜びですが、物理 I を選択した人は全く上がらないのがっかりですよね。物理 I 選択者というのは要するに浪人のひとたちですから、「1年間必死に頑張ったのに」とか「浪人の方が現役よりも平均点が高いのは当然ではないか」という不平が聞こえてくるのも無理のないことかもしれません。学者の中にも、一般的に理科に強い理系の学生が多い物理・化学の平均点が、文系の学生が多い生物・地学の平均点に比べて高くなるのは自然なことであるとして、得点調整の必要性に疑問を示している人もいます。なかなか難しい問題ですね。このような規定があるからと言って、皆さんの学習に直接影響があるとは思いませんが、実際に67期の先輩たちが体験していることなので、知っておいてください。



皆さん、本は読んでいますか？小説はあまり読まないという人でも、「芥川賞」や「直木賞」のニュースは知っていますか？1月15日に第152回芥川賞、直木賞の選考会が行われ、芥川賞に小野正嗣さんの『九年前の祈り』が、直木賞に西加奈子さんの『サラバ！』がそれぞれ選ばれました。私はふと思立って、過去の受賞者の中に都立高校出身者がどのくらいいるか調べてみました。全てではありませんが紹介します。ずいぶんたくさんいますね。

芥川賞受賞者

絲山秋子	第 134 回受賞『沖で待つ』	都立新宿高校
多和田葉子	第 108 回受賞『犬婿入り』	都立立川高校
南木佳士	第 100 回受賞『ダイヤモンドダスト』	都立国立高校
池澤夏樹	第 98 回受賞『スティル・ライフ』	都立富士高校
高橋三千綱	第 79 回受賞『九月の空』	都立神代高校
古井由吉	第 64 回受賞『杳子』	都立日比谷高校
庄司薫	第 61 回受賞『赤頭巾ちゃん気をつけて』	都立日比谷高校
津村節子	第 53 回受賞『玩具』	都立富士高校



図書館で探してみよう！

直木賞受賞者

朱川湊人	第 133 回受賞『花まんま』	都立淵江高校
石田衣良	第 129 回受賞『4TEEN フォーティーン』	都立両国高校
なかにし礼	第 122 回受賞『長崎ぶらぶら節』	都立九段高校
篠田節子	第 117 回受賞『女たちのジハード』	都立富士森高校
森田誠吾	第 94 回受賞『魚河岸ものがたり』	都立第一商業高校
胡桃沢耕史	第 89 回受賞『黒パン俘虜記』	都立新宿高校
志茂田景樹	第 83 回受賞『黄色い牙』	都立国立高校
向田邦子	第 83 回受賞『花の名前・かわうそ・犬小屋』	都立目黒高校
阿刀田高	第 81 回受賞『ナポレオン狂』	都立西高校



残念ながら豊多摩高校出身者はまだいないようです。いよいよあなたの番でしょうか？

以上